



『ひまわりのおか』

文：ひまわりをうえた八人の
お母さんと葉方 丹
絵：松成真理子
出版社：岩崎書店

大好き！絵本

初瀬 恵美



先日の大雨は、今までの気象状況では予想しえない事態でしたね。「大雨特別警報」は11府県で発表され、100人以上の死者がでました。被害もとても広範囲にわたっています。被害にあわれた多くの方に、謹んでお悔やみ申し上げます。

今月は、同じように深い悲しみをおったお母さんたちが主人公の『ひまわりのおか』をご紹介しますと思います。

まず、この絵本の帯に書かれた絵本の紹介文をそのままご紹介します。

東日本大震災で発生した大津波によって、74人の児童の命がうばわれてしまった、宮城県石巻市の小学校。この小さな小学校のそば、子どもたちが避難しようとしていた場所に、わが子をなくしたお母さんたちが、ひまわりを植えはじめました。太陽に向かってすくすくと元気に育つひまわりのすがたに、おかあさんたちはそれぞれの思いを重ねていました。この本は、ひまわりを植えはじめた8人のお母さんたちの、わが子へ宛てた手紙やお話をもとにつくられた絵本です。

この文章からも、お分かりのように、この絵本は、東日本大震災の実話をもとに作られています。実話のもつリアリティと、せつなさから読むたびに心がかき乱され、涙があふれてしまいます。でも、切なさの中に、お子さんのことを語るお母さん方の温かさ、一生懸命生きていこうとする前向きさ、子どもを思うお母さん方の真心、、、などなど、いっぱい詰まっているととても素敵な絵本です。繰り返しのよう毎日だと思っても、決してそうではないこと。そして今を、この時を大切にしなければと「ハッ」と気付かせてくれる絵本でもと思います。

絵本の最後には、8人のお母さん方が、それぞれのお子さんにあてた手紙が掲載されています。ぜひ、手に取って読んでいただけたらと思います。



誕生日おめでとう

